

研究実施のお知らせ

2021年10月18日 ver.1.0

2022年9月30日 ver.2.0

研究課題名

各種緑内障流出路再建術後の前房出血の集計

研究の対象となる方

2019年4月～2022年12月に島根大学医学部附属病院眼科で緑内障手術（流出路再建術）を受けられた方

研究の目的・意義

緑内障の進行予防を目的として緑内障手術が行われます。緑内障手術は眼圧下降効果に優れますが、一方で、手術に関連した合併症が問題となることがあります。中でも、手術後の前房出血は最も頻度の高い合併症ですが、一定の評価基準が存在しないため、それぞれの医師の基準で判定されており、その程度や頻度は十分に明らかではありません。島根大学では独自の分類表を用いて、前房出血の程度を評価しています。我々の先行研究（研究課題名：緑内障流出路再建術後の前房出血の集計）で、島根大学独自の分類表を用いる事で、前房出血の程度と頻度がカルテ記載に有用であると考えられました。本研究では、島根大学で緑内障手術（流出路再建術）を受けられた緑内障患者さんの前房出血がどの程度であるかを、以前の研究よりさらに例数を増やして、集計することを目的としています。本研究により、流出路再建術後の前房出血の程度と頻度の分布がどの様になっているかを明らかにする事ができます。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから年齢、性、緑内障病型、緑内障術式、眼圧、使用している緑内障薬剤、屈折値、眼軸長、前房フレア値、角膜内皮細胞数、視野感度、水晶体の状態、手術中合併症、前房出血以外の手術後合併症、前房出血の程度を調査します。

前房出血の程度は、手術後に撮影された前眼部写真とカルテ記載から、分類表に基づいてスコア化します。

全てのデータは研究対象者の識別が不可能な状態にして扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管しま

す。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究結果の最終公表を行ってから10年間保管し、その後消去します。

研究の結果は、眼科関連の学術誌および学会で公表します。

利用停止のお申し出はいつでも可能ですが、解析・結果の公表を行った後はご要望に沿えません。

研究の期間

2021年12月（研究許可後）～2024年12月

研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹（たにとまさき）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278